

おたなんぼ
塙保己一の友人「大田南畝」について



大田南畝

大田南畝（一七四九〜一八二二）は江戸時代中期の幕臣。文人、学者。名は覃（ふかし）、称直次郎。号は四方赤良・蜀山人など。

平の世を謳歌する江戸に花開いた狂歌ブーム、その立役者「蜀山人（しよくさんじん）」こと、大田南畝を紹介します。

塙保己一は様々な人物との交流がありました。大田南畝（おたなんぼ）もそのひとりです。東京の新宿歴史博物館で、十月十五日から二十四日まで「蜀山人・大田南畝と江戸のまち」という特別展が開催され、塙記念館からは、大田南畝の保己一宛書状、般若心経読誦巻数帳などが貸し出され、展示されました。

平賀源内らにすすめられて九歳で「寝惚先生文集」と題して出版し、一躍文名をあげ、やがて狂歌、洒落本、黄表紙にも筆を染め、漢詩文も当代一流とされる江戸の代表的な文人。幕臣としても有能で、支配勘定に昇進して『孝義録』の編纂、勘定所古記録の取調などに従事した。

享和元年（一八〇一）には大坂銅座、文化元年（一八〇四）には長崎奉行所に各一年出役した。また、『群書類従』には、南畝の蔵書が八編も使われているように、南畝も蔵書家だったようである。

塙保己一との関係は、群書類従の宣伝文を南畝が書くなど、親密な交流が行われていたようである。保己一の母方斎藤家の「加美郡藤木戸村斎藤理左衛門」が奇特者ということで褒美を貰ったという話は新編武蔵風土記稿にも記述されているが、この奇特者を載せた『孝義録』の編纂事業を担当したのは南畝である。

この際「此頃学問所にて撰ばせ

御仰可被下候随分和学好之者も可有之当地年寄などは九州四国之留守居など婚姻をも通じ大名用達にも参り居候儀にて候間何とぞ私申度者に御座候尤書物かさばり候間来春二月私同役一人下り候節之荷物へたのみ候へば届申候は私宅へ正月中にも被遣置候へばよろしく候又は西国筋大名家来便歟長崎屋源右衛門便歟に長崎岩原御役所大田直二郎



大田南畝書簡 塙保己一宛（塙記念館蔵）

書簡（抜粋・後段）

らるゝ所の『孝義録』を校正し、仮名のつかひざま詞ののべやうなど改むべき仰事ありて、あまねく校正して功なりにたればやがて開板となる。」と「温故堂塙先生伝」にあるように、塙保己一は校正を行っていた。

この書状は大田南畝が文化元年（一八〇四）に長崎奉行所へ一年間出役したときに、長崎から保己一宛に出したものである。内容は、九州の人たちに群書類従の宣伝をしたので惣目録を長崎まで送ってほしいというものである。

宛差出候へば直に届申候少しも早き方宜しく候歌書□□□為念可申候此間も類従国史よき写本四十巻出□□□高価を申候き早々不十月□□長崎岩原御役やしき

大田直二郎

本所惣やしき
塙 検校様
侍者御中 無別条
解説は「大八洲」第三百七十七号
斎藤幸一氏 提供

第5回塙保己一賞の受賞者が決まりました

障害がありながらも不屈の努力を続け、社会的に顕著な活躍をされている方々を表彰する「第5回塙保己一賞表彰式」が、12月17日（土）に本庄市児玉文化会館（セルディ）で開催されますので、受賞される方々を紹介します。当日は表彰式に続き、記念公演として宝井琴梅（たからいきんばい）氏ほかによる講演もありますので、皆様のご来場をお待ちしております。

(1) 大賞 茂木 幹央(もぎ みきお)氏(74歳 埼玉県深谷市)

埼玉県で初の「養護盲老人ホーム」を開園、運営する養護盲老人ホームに本格的な演劇ホールを設置し、全国盲人演劇祭を開催するなど芸術面でも視覚障害者福祉の充実を図る。

(2) 奨励賞 田中 文(たなか あや)氏(29歳 埼玉県上尾市)

手足が硬くなっていく進行性難病「固定ジストニア」と闘いながら、県内外の学校等で「夢に挑戦し続ける大切さ」を伝える授業や講演などの活動を実施。

(3) 貢献賞 社会福祉法人 国際視覚障害者援護協会(東京都板橋区)

教育環境に恵まれない発展途上諸国の若い視覚障害者に、日本で理療の施術やIT技術などの勉強する機会を提供。

(4) 貢献賞 桐生 清次(きりゅう せいじ)氏(77歳 新潟県新発田市)

行政、企業、施設の三者が協力した運営（トロイカ方式）により、障害者が安定した就労ができる形態を作り上げた。



昨年の受賞風景

本庄市ふれ愛夏祭に参加

平成23年9月11日（日）に本庄市総合公園周辺において「本庄市ふれ愛夏祭」が開催されました。このお祭りは施設や地域のお年寄り、身障害者、ボランティアなどの創造作品を出品展示、即売することで創作意欲と生きがいを高め、障害者の社会参加の場を拡大することを目的としています。顕彰会も参加して銅像やパネル展示の出品の他、まんが本の販売、会員募集も行い、多くの来場者に先生の偉業をPRしました。



お母さんが銅像に触れて頭脳明晰を願います



ボクも記憶力がよくなるように・・・

顕彰会の会員を募集しています

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会は、塙保己一先生の遺徳を顕彰し、幅広い啓発活動を行っています。まだ継続手続きをされていない方は会費の納入をお早めにお願いたします。

また、会員の皆様も、お知り合いの方をご紹介しますいただきますようお願いいたします。



年会費

個人会員 一口 千円、 賛助会員（団体） 一口 一万円

入会と会費納入の受付場所

本庄市生涯学習課（中央公民館）と本庄市児玉文化会館（セルディ）で受け付けています。

本庄市役所4階文化財保護課と児玉総合支所2階総務課では、平日にお預かりします。

※ 郵便振替でも申し込みできます。

◎会員証提示による協力店をご紹介します。

事業所の名称	所在地	電話番号	割引等の特典内容
バーバーショップムサシ	本庄市児玉町児玉 1223-5	72-1181	ポイントを2倍進呈
日新ハウジング（株）	八幡山 171	72-3933	タオル又はティッシュ1箱進呈
（有）チハラ金物店	児玉 151	72-0014	ポイントカード2倍（特価品、建材品、電動工具以外）
（有）マロン	児玉 172-2	72-1258	ポイントを2倍進呈
靴のなかがわ	児玉 46	72-0249	1,000円以上お買い上げの方にティッシュ1箱+ポイントプレゼント
（有）梅月堂	児玉 78	72-1036	1,050円以上お買い上げの方、塙サブレ2枚プレゼント
島田園	児玉 1250	72-0158	ポイントカード3倍進呈
レストランひら久	児玉 14	72-1365	お一人様1,000円以上ご利用の方、コーヒーor フルーツアイスクリームサービス
（有）かしわ商会	児玉 138	72-1252	1,000円以上ご利用のお客様にボールペン1本進呈
いなか茶屋 きんしょう	田端 190-2	72-5520	つみっこ10%引き

編集後記

市内事業所の協力による割引等の特典を、是非ご利用いただくようお願いいたします。来年のカレンダーを作成しましたのでご活用下さい。これから寒くなりますが、会員の皆様も元気でお過ごしください。

発行 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

事務局 本庄市教育委員会 生涯学習課
本庄市児玉文化会館（セルディ）内

所在地 367-0216
埼玉県本庄市児玉町金屋728-2

電話 0495-72-8851

FAX 0495-72-8854

そうけんぎょう はなわ ほきいち せんせい いとくけんしょうかい

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会報誌

第12号 平成23年11月発行



塙保己一先生顕彰祭 記念講演 元NHKチーフディレクター 川野 楠己氏

ごあいさつ

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会では様々な事業を実施していますが、これもひとえに会員皆様のご協力のおかげと感謝しております。

さて、顕彰会の活動状況ですが、9月12日には顕彰祭が盛大に開催されました。来場者全員による献花の後、元NHKチーフディレクター川野楠己氏による「塙保己一と視覚障害者」～琵琶法師から瞽女、記憶の職業～と題した記念講演がありました。墓所の移転及び塙先生百年祭記念碑の整備と銅像建立については、それぞれの委員会で協議されています。自治会連合会による自治会単位での勉強会も計画されています。講師は会員の有志が務めることになり、講師陣が分かりやすいスライド資料を作成しました。

また、12月17日には埼玉県主催の「第5回塙保己一賞表彰式」が開催されますので、皆様のご来場をお待ちしています。この賞は障害があっても顕著な活動をしている方、障害者のために貢献している方などに贈られるもので、4人の方々の受賞が決定しました。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

会長 吉田 信 解